



○満足 50.9%
間取り、地震・台風・火災時からの安全性、建物維持のしやすさ

×不満 48.3%
省エネ性、断熱性・気密性など温熱環境に関すること

住宅を購入した年齢層が30〜40代に集中していることや、子供のいる家庭が多いこともあり、最初は部屋数や配置などを気にしつつも、最終的には子育て環境を優先した傾向が見られます。そしてやはり価格が何よりの決め手となっていることが分かります。これからの教育費や生活資金を考えると、理想はありながらも金銭的に折り合いをつけざるを得なかったということでしょう。さて、そんな現在の住まいについて不満があるかアンケートの結果も見てみましょう。

一戸建購入の際に重視した点トップ10

1	間取り	49.0%
2	十分な採光	46.5%
3	価格	46.1%
4	住宅の向き	38.8%
5	二階建て	36.2%
6	収納の多さ	35.2%
7	通勤・通学時間	32.0%
8	教育環境のよさ	31.9%
9	生活環境のよさ	31.1%
10	周辺環境の良さ	29.3%

一戸建て購入の決め手となった点トップ10

1	価格	39.3%
2	教育環境の良さ	28.8%
3	周辺環境の良さ	28.7%
4	土地面積の広さ	28.3%
5	間取り	28.2%
6	生活環境の良さ	27.5%
7	実家からの近さ	26.7%
8	通勤・通学時間	26.0%
9	十分な採光	24.9%
10	住宅の向き	23.5%

不満点について挙げられた項目

1	特に夏の暑さ、冬の寒さに満足でない	70.0%
2	一年を通じた家全体の暖かさ、涼しさが満足でない	67.0%
3	冷暖房が効かない	48.7%
4	冷暖房費がかかりすぎる省エネでない	43.5%
5	部屋により温度差があり、使いたくない場所がある	28.2%
6	冬の結露	25.8%
7	夏の湿気、カビ、害虫の発生	18.2%
8	通気の悪さ	10.9%

「断熱性能や温熱環境という言葉をよく知らなかった」
「家の温熱環境が、暮らしやすさや健康に大きく影響することを知らなかった」
「断熱性や室内の温熱環境のいい家に関する情報や知識がなかった。業者まかせだった」

最初から知っていたらよかった・・・

実際住み始めてみると、思っていたよりも暑い、寒い、冷暖房費が想像以上にかかっている、温度差があつて不快など、住み心地に対する不満が出てくるようです。また、「温度や湿度で悩むとは思わなかった」「温熱環境の大切さを知らなかったし、説明も受けなかった」など、住まいの断熱性能

理想と現実の違いは？我が家の実情
新築、中古、建売、注文住宅すべてを含む一戸建ての購入者に、購入の際に重視した点と、決め手になった点を尋ねたアンケート結果があります。

希望した条件に合う住まいを選んだ訳ですから、周辺環境や間取りには当然満足されているようですが、それでも半数の方が不満点があると答えています。その中で何が不満か尋ねてみると、購入時に重視したり、決め手となった点の中に全く挙がらなかった項目である「温熱環境（家が暑い、寒い）」に関して、悩みが集中しているのが興味深いところです。

後悔のない、快適な住まいを手に入れよう！
やつと実現した憧れのマイホーム。最近購入された方も、既に長く住まわれている方も、手に入れたときは様々なこだわりや条件をクリアした、満足のいく住まいであったと思います。しかし、いざ住んでみると「ここをもっと考えておくべきだった」と後悔することがあるようです。そんな住まいの「理想と現実の違い」について、一戸建て住宅をお持ちの方の生の声を集めたアンケート結果をもとに、後悔のない住まいづくりと暮らし方について考えてみたいと思います。

住宅性能表示等級

S55基準	旧省エネ仕様	等級2	現在この仕様で建てられていない
H4基準	新省エネ仕様	等級3	現在でも建売住宅で最も標準的に採用される仕様
H12基準	次世代省エネ仕様	等級4	長期優良住宅フラット35適用
H25基準 (H27.4施行)	次世代省エネ仕様 + 低炭素住宅	等級4~5	次世代省エネに加え一次エネルギー消費を10%削減

等級3は等級2より約50%の暖房費削減
等級4は等級3より約60%の暖房費削減

断熱はとても重要です。お住まいの断熱性能がどの程度か分からない場合は、建築年度からある程度知ることが出来ます。

心地よい温熱環境は断熱が決め手
暖かさや涼しさなど、家の温熱環境には断熱性と気密性が関係していることは、なんとなく知っている方が多いと思います。断熱とは言葉通り、外気温の影響が直に室内に伝わらないように「熱」を「断つ」こと。断熱がしっかりできていない家では、いくら暖房しても熱が逃げてしまい寒いままです。エネルギーを節約しながら健康的で快適な暮らしを送るためには、断熱はとて重要で、お住まいの断熱性能がどの程度か分からない場合は、建築年度からある程度知ることが出来ます。

断熱性能の等級3があれば十分だと言われていますが、等級3と4では冷暖房費で大きく差がつきます。また、性能等級が上がるにつれて上下の温度差と部屋間の温度差が解消され、快適度が増すことが分かっています。断熱性能が向上すると効率よく寒さが改善され、健康的でも安心です。断熱リフォームは費用も時間もかかると思われがちですが、窓、壁の部分改修だけでも効果が得られるものや、日数もあまりかからず出来るものがありますので、お悩みの方は検討してみてください。

冬の季節、寒さへの不満とともに、暮らしの悩みに上がる項目が結露。等級3程度の断熱性能があるお住まいでも、朝、窓ガラスに結露がびっしり付いてしまうことがあるようです。結露の正体は、空気中に余ってしまった水分。暖房で暖められた空気はたくさん水蒸気を含んでいます。冷やされるとその水分を抱えきれなくなり、余分な水蒸気は水滴となって冷えている場所に現れます。朝に結露が起これば、夜寝る前まで暖めていた空気中の水分が行き場所を失ってしまったからです。結露の怖いところは、カビやダニの発生源となり、人にも住まいにも大敵であることです。家の中に極端に冷えた場所を作らないように、温度差の少ない環境を整える必要があります。結露は断熱性をよくすることで防止できますが、室内が高湿度にならないような生活を心がけることも大切です。例えば暖房方法もその一つ。暖房方法の違いや使いかた次第で、水蒸気の発生量にはかなり違いが出てきますので、注意すべきところを見てください。

高気密・高断熱にふさわしい暖房を
高気密、高断熱になるにつれて室温は安定しますが、湿気や汚れた空気が逃げにくくなるため、十分な換気が必要になります。高気密・高断熱住宅では24時間換気システムがついていますが、多量の水蒸気が発生する石油式・ガスファンヒーターを使用する場合は、それだけでは換気が十分になりがちです。一方、エアコン暖房は乾燥気味になるため、過剰な湿度状態にならない限り結露の発生はほぼありませんが、乾燥対策で加湿器を併用しているときは注意が必要です。この場合は夜中も続けて暖房しないと、空気中の水蒸気が冷えて

結露を起す可能性が高くなります。石油式・ガスファンヒーターやエアコン暖房の場合は、よほど使い方に気をつけないと湿度をうまく保つことができません。高気密・高断熱住宅ともっとも相性がよい暖房方法は輻射式暖房器具です。余計な水蒸気を発生させることなく、空気中の汚れも少ないので清潔で安心。空気を暖めるのではなく、物を暖めるので、室温を一定に保ちやすいのが最大の特徴です。本来ならば、断熱仕様や暖房方法は住まい作りの最初の時点で検討しておかなくてはならない重要なことなのですが、多くの住宅販売ではほとんど触れられずに終わってしまいます。エーディーハウスでは、お客様のこれからの暮らし方も考え、計画時に温熱環境についてしっかりと説明と提案をさせていただきます。建ててから後悔のない、快適な空間で豊かに暮らしをお約束します。

輻射式暖房器具
蓄熱式床暖房、オイル・パネルヒーター

- 蓄熱性のある素材を暖め、その熱を自然循環させて全体を暖房する。基本的に温風が出ないので（ファンで熱を暖める方式もある）乾燥や過剰な水蒸気発生心配がない
- 即暖性はないが一度暖まると冷めにくい。空気の汚れや火災の心配のない最も安全な暖房法。

エアコン

- 電気を使って暖かい空気を出すため水分の放出がなく、乾燥気味になる。
- 最新機種ほど効率が高く、光熱費を効果的に削減できる。最も手軽で即暖性があるが、壁や床などを暖める能力が低く、体感温度が上がりにくい。
- フィルターの汚れやカビを室内に撒き散らさないよう、こまめな清掃が必要。

シルクライン蓄熱式床暖房

蓄熱式床暖房を低コスト・短期間で実現する、低温水式の熱源を使ったシステム。深夜電力を使って夜間に温水を作り、床下の蓄熱層を暖めます。

ハイブリッドソーラーハウス

太陽熱コレクターで太陽の熱を集め、蓄熱コンクリートでしっかり保温。同時に湯も作ります。足元はいつも24℃から26℃、快適温度を24時間常に維持します。

結露を起す可能性が高くなります。石油式・ガスファンヒーターやエアコン暖房の場合は、よほど使い方に気をつけないと湿度をうまく保つことができません。高気密・高断熱住宅ともっとも相性がよい暖房方法は輻射式暖房器具です。余計な水蒸気を発生させることなく、空気中の汚れも少ないので清潔で安心。空気を暖めるのではなく、物を暖めるので、室温を一定に保ちやすいのが最大の特徴です。本来ならば、断熱仕様や暖房方法は住まい作りの最初の時点で検討しておかなくてはならない重要なことなのですが、多くの住宅販売ではほとんど触れられずに終わってしまいます。エーディーハウスでは、お客様のこれからの暮らし方も考え、計画時に温熱環境についてしっかりと説明と提案をさせていただきます。建ててから後悔のない、快適な空間で豊かに暮らしをお約束します。

漢字パズルに挑戦!

前回の漢字パズルにも多数のご応募を頂き、誠にありがとうございました。正解は「円」でした。正解された方に商品を送らせて頂きました。今回は是非ご家族の皆様で挑戦して下さい。パズルに正解されたご応募者の方から抽選で10名様に、苜屋の紅茶専門店「Ufflu(ウフフ)」よりオリジナルブレンドティー「プランタン」ティーバッグをお送りいたします。こちらのお店、カフェめぐりを愛する読者様からご紹介いただきました。紅茶好きの間で知らない人はいないと言われる、紅茶の王子様(ー)と称される男性オーナーが営む紅茶店です。店内には、最高に美味しい紅茶を気軽に楽しんでほしいという思いを込められた茶葉が勢揃い。味覚と経験で現地から直接買い付けた茶葉を用いたオリジナルブレンドティーの数々は、一般の方から喫茶店経営の方まで愛用され、信頼される逸品ばかりです。お届けする「プランタン」は、厳選したタージンファーストフラッシュ(春摘み)に日本産のドライカモミールをふんだんにブレンドしたスペシャルティー。爽やかで優しい香りがいっぱい広がり、プランタン(春)と名付けられた通りそのものの味わいです。渋みが出ないようにゆつくり水出しするのがお勧めとのこと。うらかな春のティータイムをお楽しみ下さい。クイズの解答ができました方は住所とお名前をご記入の上、弊社までご郵送、またはメールにてお送り下さい。応募締切りは平成29年3月31日です。



数々の魅力あるブレンドティーに目移りしそう!紅茶の他に中国茶・台湾茶も豊富。週末は店内でスイーツも楽しめます。お茶選びに迷ったら、オーナー様にご相談を。選び方から淹れ方まで、懇切丁寧にアドバイス頂けます。

編集後記

今年もまた寒い冬がやって参りました。毎朝こつりと着込んでカイロ持参で登校する我が家の子供たち、そのお姿に同情します...そう、学校って本当に寒いよね。教育施設こそ優先的に温熱環境を整えるべしと訴

え続けている(誰に?)編集者Yですが、私が通った学校ももちろん、寒かったなあ。特に中学高校の寒さと言ったらハンパなかった記憶があります。制服はスカートに三つ折り靴下というほぼナマ足、冷えは地獄のものです。下にジャージを仕込むと怒られたし(泣)北側が廊下、南側に教室配置という典型的な学校建築でしたが、不思議だったのが南側の窓下にパネルヒーターがずらりと設置されていたこと。南は日が当たって暖かいんだから、暖房は廊下側に設けるべきじゃないの?生徒全員がなんとなく疑問に思っていました。ある日勇気ある同級生がどうも怖かった校長先生に質問しました!先生、暖房の位置、おかしくないですか?すると校長先生は胸を張って答えました。私は細部に渡り緻密に計画して学校を作った。暖房が窓側にあるのは正しい。廊下側に設けると、不快な空気の対流が生まれて余計に寒くなるんだ。それを予防するために窓側を暖めている、と。そう説明されたら女子高生には全くピンときませんでしたが、後に大学で建築を学ぶようになり、あの時校長先生が言ったことはゴールドドラフト現象と呼ばれるものだと知り、なるほど論理的には正しかったのかと納得。でも、その割には寒かったのは何故?と謎だったので今となってはよくわかる。断熱も気密もあつたもんじゃな場所をどんな暖房をしたところで暖まる訳ないじゃないか(笑)校長先生、あれは断熱がしつかりされていけば、きつと快適だったんだと思いますよ。空気の汚れに配慮して、当時はまだ珍しかったパネルヒーターを導入するところまで考えて下さったのに、惜しいことです。まあ、何十年前のことで、断熱性などはほとんど知られていないような時代で、ましてや場所が学校。無理もない話です。今でも断熱性の高い学校の実現など夢の話かな。暖かく居心地のよいところなら子供たちものびのびと明るく、意欲的に学習できて、いじめなんかもきつくないと思うのですが、雪だるま式に年々太くなっている編集者、脂肪が断熱材になってくれているのか、この頃寒さを全く感じませんの。便利です。このままずっと、身に纏っておきましょうか(汗)

工事NEWS

** 最新の現場ニュースはホームページをご覧ください **



■たつの市 U様邸新築工事

設計事務所の物件で、大きな屋根葺き工事が完了しました。現在、内部の造作工事中です。1月中旬より内装工事の方に入る予定で、大工工事の方を進めていっています。内装は、自社の物件の仕上がりとはまた違った色の組み合わせになりそうです。2月末の完成に向けて、段取りよく行っています。



■たつの市 D様邸新築工事

現在、外部の造作工事が終了し、1、2階の内部造作工事中です。大工さんも2名入り順調に進んでいます。外壁のそとん壁の美しいホワイト色がお見せできず残念ですが、次号には完成間近の写真が掲載できると思います。ブログ等にも随時掲載していきますのでよろしくお願いいたします。



■姫路市 O様邸新築工事

基礎工事中です。基礎配筋工事、社内と検査機構による配筋検査が無事終了し、土間コンクリートの打設が完了。これより立ち上がりコンクリートの準備に入ります。墨出し、外周断熱のカット、立ち上がりコンクリートの型枠組を行います。その後外部の先行配管工事、雑コン打設を行い年内の工事は終了。年明け1月中上棟の予定です。



■たつの市 K様邸新築工事

12月中旬より基礎工事が始まりました。上棟は1月下旬の予定です。木造2階建て・屋根はガルバリウム鋼板縦ハゼ葺き・外壁はそとん壁(ベージュ色)のストレッチ仕上げと一部杉の焼板貼り(ブラック)・床材は、1階2階とも杉板貼り・壁と天井は、オガファーザー貼りです。7月の完成予定で工事の方進めてまいります。見学会も行いますので楽しみに!



■赤穂市 N様邸新築工事

先日上棟しました。現在は、瓦屋根葺き工事と筋違・間柱取付工事をおこなっています。外部の仕上げ材は、そとん壁と一部板貼りの仕様となっています。内部床材はナラ材を使用します。床下エアコン物件です。これからどんどん形になっていくので楽しみです。



■姫路市 S様邸新築工事

先日、地鎮祭を行いました。現在は基礎工事中です。掘方をして捨コンを打ち、鉄筋を組んでコンクリートを打ちます。年明けに外部のコンクリートを打設する予定です。上棟は1月下旬位です。外部の仕上げ材はそとん壁、玄関周りは板貼りします。内部の床は杉材を使います。床下エアコン物件です。

『1/22 2/26 お住まい拝見 見学会』実際の暮らしを感じていただくイベントです。

(1部)10時~12時終了 (2部)14時00分~16時00分終了

6組限定 完全予約制。予約は開催日4日前に締め切り予定。*ずっとだっこが丈夫な赤ちゃんを除き、小さなお子様の入場を制限させて頂いております。

1/22(日)・たつの市・竣工:2014年・1階67.76㎡ 2階50.79㎡ 合計118.55㎡(35.86坪)

古きよき時代の風景に溶け込む外観デザインは白州そとん壁と、いぶし平板瓦。

内部はADスタイルならではのアイデアが盛りだくさんです。

シルクライン床暖房を搭載し、さらに断熱仕様は付加断熱5センチ。寒い冬も怖くない快適な空間の提案です。



2/26(日)・竣工:2016年・1階61.32㎡ 2階52.21㎡ 合計113.53㎡(34.34坪)

多くの素材、色を提案し楽しめる空間構成。リビングとダイニングを独立させ、住宅街の中にある建物ですが、室内は別世界。快適で開放的な暮らしを実現した住まい。半地下の和室やこもれる書斎スペースもあり34坪以上の広がりを感じることができます。

コストパフォーマンスの高い快適性能の床下エアコンを採用。



ご予約お待ちしております